

令和6年笛吹市議会第3回定例会の告示に伴う  
記者会見質疑応答（要約）

■記者

補正予算の中で、石和温泉花火大会や川中島合戦戦国絵巻などの観光イベント等に向けた駐車場として活用できるよう、山梨中央銀行石和寮の跡地を購入するための予算が計上されていますが、そちらの場所と敷地の大きさなどをお伺いします。

■財政課長

場所につきましては、石和南小学校の西側になります。広さは2891㎡、車の台数は約120台を予定しています。

■記者

今現在、何か建物等がありますか。

■財政課長

山梨中央銀行の寮がまだ建っています。そちらの建物を山梨中央銀行の方で解体していただいでから利用します。

■記者

いつからの利用開始を予定していますか。

■財政課長

令和7年7月からの供用開始を考えています。

■記者

現行、駐車場が不足しているということですか。

■財政課長

笛吹市で行うイベントとしては駐車場が若干不足していますので、そちらを駐車場として活用するための購入となります。

■記者

舗装等はしますか。

■財政課長

舗装まではしないで、ロープ等で区切る予定です。

■記者

外国語指導助手設置事業について、新たな英語教育のプログラムを来年度から導入されるようですが、これはどういうプログラムで、どのくらいの外国語指導助手を増員するかをお伺いします。

■市長

基本的にはALTの増員です。昨今、英語教育の低年齢化が始まっていますので、そこに力を入れてやっていきたいと考えています。

■教育部長

現在、市では10人のALTを任用しており、うち5人が小学校、1人が中学校を専属で担当しています。残り4人が小中学校を兼務しています。今回の事業により、小学校専属で8人、中学校専属で14人の増員をします。10人から22人の増員となりますので、まずは、ALTの増員ということになります。増員後は文部科学省の教育課程特例校制度を活用していきたいと考えています。

■記者

英語教育に力を入れるということですが、どういう狙いで英語教育に今後、注力していくということですか。

■市長

国で小学校低学年から英語教育を進めていますが、本市の現状では、小中学校合わせて10人のALTの対応では限界がありますので、専属にALTを配置し、英語教育をしっかり進めていきたいと考えています。一般的に国際化が進んでおり、インターネットも進んでいますので、国際的な視点を持ち、世界に羽ばたくような子供たちを育てていくため、長期的に取り組んでいこうと考えています。

■記者

外国の自治体との協定締結調印式にかかる費用が計上されていますが、どことの協定締結を予定していますか。

■政策課長

外国の自治体と姉妹都市協定を結ぶことで、交付税措置がされますので、そちらを目指しています。協定を結ぶ自治体は、フィリピンを予定しており、フィリピンの自治体と協定締結する支援業務の補正予算となります。

■記者

英語特区は何年度に取得し、始めていくという目標はありますか。

■市長

本年度、ALTを22人にし、来年度の4月から始めていきます。

■記者

授業時間を増やしたいですとか、子供たちを留学させたいなど具体的な考えはありますか。

■市長

いろいろなプログラムはこれから提案します。基本的には、英語特区を取得しなければ

なりませんので、まずは、22人のALTを配置することからスタートし、その中で課題も出てくると思いますから、それを一つ一つクリアしていき、英語特区が本市の目指しているものなのかどうかどうも含め精査し、進めていきたいと考えています。

■記者

2点お伺いします。まず、市長の2期目の任期満了が近くなっていますが、この4年で何ができて、そして、今後3期目で頑張りたいということがありましたら教えてください。

■市長

私が平成28年の11月から就任して、インフラ整備などに充てた合併特例債は今回の9月の決算までの8年間で、約150億円返済し、基金は30億円ほど積み増しすることができました。一番の課題はどこの市町村もそうかもしれませんが、人口減少です。笛吹市が、生み育てやすく子育てしやすいまちであり、すべての市民が安心して暮らせるまちづくりなど、当選させていただいたら一生懸命やらせていただきたいと思います。

■記者

もう1点は富士山登山鉄道についてです。  
反対だという動きが笛吹の市民の方からも声が上がってきている状況ですが、こういった動きが出ていることについて、市長会見の場ではありますが、市長所感などございましたらお答えいただけますでしょうか。

■市長

私の方からは特にコメントはありません。

■記者

ワインの新しいイベントとはどういったものですか。

■市長

ワインと地域を結ぶ新たなイベントとして、「Wine Park Lounge」を継続して実施いたします。笛吹市のリソースが詰まったアットホームでゆったりできるワイン広場で、本市、ワイン会12社のワインを楽しんでいただきたいと思います。今後、10年、続けていくビジョンしております。  
今年は2日間の開催を予定していますが、来年度以降は3日間の開催予定です。

■記者

日程は決まっていますか。

■市長

日程は、前夜祭として11月30日の15時から19時まで、当日のイベントは、12月1日の10時から16時までです。期間中は温泉もご利用いただき、イベントを楽しんでいただければと思います。

■記者

市営温泉改修工事について伺います。今回、みさかの湯の改修の設計費が計上されていますが、現在、いちのみやももの里温泉の改修工事をおこなっていますので、来年度、みさかの湯とやまゆりの湯に着手する予定ということですか。また、それで一連の改修は終わるということでしょうか。

■市長

現在、いちのみやももの里温泉と石和のなごみの湯の2施設について、同時に改修工事を進めさせていただいております。しかし、資材の調達など若干遅延しており、工期に影響が出ている部分もありますので、みさかの湯とやまゆりの湯については、2施設の利用再開後、すぐに着手できるよう準備を進めるため、予算計上させていただきました

■記者

みさかの湯とやまゆりの湯は来年の着工目指すということですか。

■市長

それは厳しいかもしれませんが、早急に着手できるよう準備をしていきます。

■記者

グラウンドの芝生化の進捗状況を教えてください。

■市長

グラウンドの芝生化については検討中ではありますが、現在は、青楓美術館など文化施設について検討委員会を立ち上げますので、文化施設の方向性が決まりましたら、グラウンドの芝生化について考えていきたいと思っています。

基本的には、社会体育施設を使いながら再整備をしていく考え方でおります

■記者

わかりました。先ほど、文化施設のあり方について、検討委員会を立ち上げるとのことですが、対象の施設を教えてください。

■財政課長

対象施設は、青楓美術館と春日居郷土館、八代資料館、小林公園に銅像が対象となっております。あとは釈迦堂遺跡博物館です

以上